

175種の地域資源選定

県活用促進
構想検討委

新商口品開発を支援

県の地域産業資源活用
促進構想検討委員会（座
長・長尾治明富山国際大

教授）は九日、県民会館で開き、伝統技術や農産物などの「地域資源」を活用した中小企業の新商品開発を支援する基本構想をまとめた。深層水やシロエビなど百七十五種類を地域産業資源に選び、資金や技術面でのバックアップ体制を整え

る。

県は、構想を基に基本計画を策定。今月中に国に提出し、認定を受ける。

計画で指定された地域資源を活用する企業は、設備投資減税、低利融資などの支援が受けられる。

地域資源は「産地技術」で薬、アルミニウム製品、高岡銅器など三十資源、「農林水産物」はホタルイカやブリ、チューリッ

プなど五十一資源、「観光資源」は瑞龍寺や越中おわらなど九十四資源を選んだ。